

平成26年(2014年)

12月

第20号

躍 動

(江東区体育協会だより)

—編集・発行—

江東区体育協会

〒135-8383

江東区東陽4-11-28

江東区スポーツ振興課内

TEL 3647-4887

体育協会会長就任にあたって

会長 梶原 克之

6月に開催された定期総会において、体育協会会長に就任いたしました。



五十有余年の歴史と伝統ある江東区体育協会の、第7代会長に就任するとは夢にも思いませんでした。歴代会長さん方の優れた手腕と業績に思いいたすとき、果たしてこの重責を全うできるかと危惧しております。これまでの体育協会での経験と、歴代会長のご指導を生かし、全精力を傾注し、皆様のご支援とご協力により、この大任を果たしたいと決意を新たにしております。どうぞ、皆様方よろしくお願いたします。

2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定し、競技の中心地江東区では、2020年に向けて、その先を見据えた区民スポーツ振興の基本理念を示す「スポーツ推進計画」を策定中です。これを受け、体育協会では、今までの事業を検証し、今後のあり方について検討していきます。私たちの街江東区のスポーツの振興・発展と、生涯スポーツ社会の実現を目指し、区民の健康増進と地域コミュニティの活性化を進め、誰もが元気で生き生きと暮らせる社会を築くことこそが、最大の課題であると考えます。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの成功とこれらの課題解決に向け、今後とも関係団体との連携を深め、全力で取り組んでまいります。

皆様方のご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。

第67回都民体育大会 男子4位、女子3位

今年度の都民体育大会は、江東区、男子総合4位、女子総合3位と素晴らしい成果を上げることができました。男子では陸上競技、軟式野球、バトミントン、剣道、ゲートボールの5種目が優勝、女子では、陸上競技が優勝、テニス、弓道の2種目が第3位と健闘しました。それぞれの競技の選手の皆さんの活躍を紹介します。



都民大会総合開会式

陸上競技男子、女子ともに優勝

江東区陸上競技協会 長田 宜孝

5月24日に駒沢陸上競技場で開催され、江東区が男女共に総合1位のアベック優勝でした。女子は出場した14名全員が入賞しました。

男子は100メートル2位、200メートル1位・2位、800メートル1位・8位、1500メートル3位、5000メートル6位、400メートルリレー1位、走高跳6位・8位、走幅跳2位・4位、総合得点は106点でした。

女子は100メートル1位、400メートル1位・2位、1500メートル1位・2位、5000メートル5位、走高跳1位・4位、走幅跳1位・3位、砲丸投2位・7位、やり投4位・5位、総合得点125点。

今回の優勝にあたって、選手全員に感謝申し上げます、報告とします。

ゲートボール優勝 2連覇

5月25日、駒沢オリンピック競技場にて行われた男子ゲートボール競技において江東区は優勝の栄冠に輝きました。また、9月6日に千葉県東金市の東金アリーナにて行われた第70回紀の国わかやま国民体育大会・南関東地域予選会にて江東区所属の「BRAVE」が男子の部で優勝し、南関東地域の代表として2015年開催のわかやま国体出場を決めました。

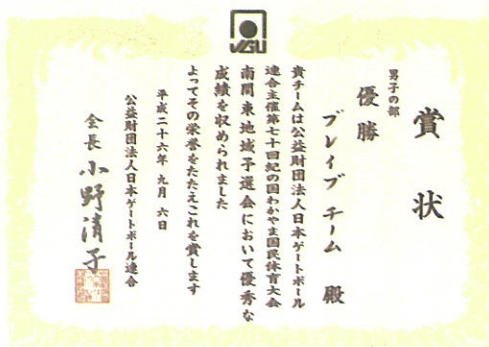
東京都民体育大会では男子が第66回、67回と2連覇を達成しております。

わかやま国体より「ゲートボール」は公開競技になっており、今回初めて国体予選が行われました。今回の国体予選で南関東地域(東京、神奈川、千葉、山梨)の代表として出場できることは非常に嬉しく、光栄に思います。

東京都民体育大会、わかやま国体予選会へ参加した選手を紹介します。

生田太、永田敏夫、高山光雪、上條諭志、東野裕、森口貴教の6名です。

江東区のゲートボールチームは毎年都民体育大会上位入賞の常連であります。しかし、残念ながら会員数は減少の一途を辿っております。江東区に在住、在勤の皆様、少しでもゲートボールに興味がある方は、是非とも私達と一緒に東京都のトップを目指そうではありませんか。また、江東区体育協会様、江東区GB連盟、高村芳江会長及び会員の皆様には大変お世話になっております。心よりお礼申し上げます。



剣道優勝

剣道連盟理事長 熊川 将一

5月18日、東京武道館において、1チーム5名による熱戦の火蓋が切って落とされました。

江東区は監督・伊藤忠、大将・伊賀茂則、副将・

西山亮、中堅・關晃平、次鋒・伊賀妃都美、先方・關龍之介の布陣で臨みました。

1回戦 西東京市に3対1

2回戦 北区に3対2

3回戦 中央区に4対1

4回戦 世田谷区に3対0

準決勝 武蔵野市に3対2

決勝戦は葛飾区となりましたが、先鋒が負けるも次鋒、中堅、副将と勝ち3対2で見事優勝しました。これもふだんからの稽古のたまもであります。



軟式野球競技 優勝4連覇達成

軟式野球連盟理事長 下高山 春造

区内新砂に所在する佐川急便(株)東日本支社の佐川急便東日本野球部は、第67回都民体育大会軟式野球競技で優勝し、4連覇致しました。

1回戦は米津完封、田島・坊良両選手のホームランで4回10対0コールド勝ち。

2回戦は加瀬・井野の活躍に加え大川の投打の活躍で6対0完封勝ち。

3回戦は須藤の完投、有川・坊良の連打で先制し、7回に藤澤のホームランでダメ押し。

4回戦は山田・大川の継投、横井・山田の連打でチャンスを作り、3番坊良・4番藤澤の連打で勝利。

準決勝は山田完投、岡井・有川の長打で勝利。

決勝は1回戦に続き米津完封、3回に打者一巡で5点を先取し勝利しました。

来年度は5連覇達成を目指し、都民大会で江東区総合成績1位を勝ち取りたいと思います。

優勝するまでの対戦成績

1回戦 10対0 エラーズ(東久留米市)

2回戦 6対0 井荻スポーツクラブ(杉並区)

- 3回戦 5対1 零倶楽部(北区)
- 4回戦 6対1 (株)ベスト(千代田区)
- 準決勝 6対1 東芝情報機器(品川区)
- 決 勝 5対0 日本航空電子工業(株)(昭島市)



佐川急便関東野球部

バトミントン男子チーム優勝

監督 橋本 和紀

今年はシード権が無いところからのスタートで、決勝戦は前回優勝した時と同じ因縁の対戦相手である調布市でした。

初戦から若手の動きが良くない状態で接戦続きでしたが、35歳以上と45歳以上が貫録で勝ち抜き、試合回数を重ねる度に若手選手の動きも良くなりました。とは言え決勝戦では45歳以上の第3ダブルスでファイナルセットのセッティングまで、もつれ込む大接戦での勝利でした。

応援して下さった皆様、本当に有難うございました。



テニス女子 第3位

テニス連盟女子監督 三宅 瞳

都民大会でテニスは区・市・町・村50チーム対抗で有明テニスの森コートに於いて、シングルス1試合・ダブルス2試合で行われました。

1回戦は葛飾区に3対0、2回戦は稲城市に3対0と順当に勝ち進み、3回戦は前年度優勝チームの三鷹市でした。

ここを全力で頑張ろうと声を掛け合い3対0で勝ち抜き、4回戦の町田市にも勝ち、3日目の準決勝に進む事ができました。

選手は20代から60代の5名で初めてチームを組んだにもかかわらずここまで来たのです。

しかし、対戦相手は優勝経験もある練馬区でした。シングルスは惜しくも4対6で負け、ダブルス1も4対6で負けましたが、ダブルス2は40代と60代のペアーが粘りに粘ってタイブレークを制してベテランのテニスを見せてくれました。

会長はじめ連盟の皆様の連日の熱い応援をいただき、選手一同心より感謝申し上げます。



弓道女子 第3位

第67回都民体育大会女子の部で、江東区弓道連盟の女子チームが3位に入賞しました。試合は5人一組の団体戦で行われ、予選は1人8射、計40射のうちの的中数で上位8組が決勝に進出します。江東は25チーム中トップで予選通過しました。

決勝は2組ずつが対戦するトーナメント戦で、1人2射、計10射のうちの的中数で競います。1回戦は大田区を相手に7対2で勝利。準決勝は千代田区と対戦して4対4の同中の後、各自が1射ずつ行う競射で2対4での敗退。3位決定戦で三鷹市に7対5で勝利しました。



**体育功労者・体育優秀選手・
チーム等表彰式**

毎年、体育スポーツ活動の指導と振興に貢献した方、また優秀な成績を収めた個人やチーム、スポーツなどに普及・振興に功績のあった団体などを表彰しています。

今年度の表彰式で受賞された多くの方々の中から一部ですが紹介いたします。

詳しくは、江東区体育協会のホームページをご覧ください。



体育功労者

体育功労者は、体育スポーツ活動の指導と振興に貢献し、社会体育の振興に尽力し、所属団体の要職として体育、レクリエーションの普及振興に功績のあったの方々です。各団体から推薦されました。

(敬称略)

氏 名	団 体 名
藤本 悟	水泳連盟
吉田 隆之	軟式野球連盟
福島 宏之	ソフトテニス連盟
田中 節子	バレーボール連盟
戸津 俊正	剣道連盟
佐藤 光男	柔道会
飯村 達朗	弓道連盟
君嶋 勇児	レクリエーション協会
柴田 春夫	釣魚連合会
大塚 真弓	バトミントン協会
吉岡 壽夫	クレール射撃連盟
藤本 寿樹	空手道連盟
青木 満	テニス連盟
関 秀雄	ラジオ体操連盟
高津 壽江	なぎなた連盟
多田 英之	ダンススポーツ連盟
榎本 孝	小学校体育連盟



体育功労者代表謝辞 藤本 悟

優秀チームの紹介

三砂ジュニアチーム

東京都スポーツ少年団全国交流大会1位
第34回東京都小学生バレーボール選手権大会東京都大会1位

三砂ジュニア監督 中塚 敏行
三砂ジュニアが、一番大切にしているのは元気です。小学生に、スポーツを通し元気に頑張る事を伝えたく12年前にスタートしました。

平成25年度の成績は、次の通りです。バレーボール協会主催の東京都大会が、2月に行われ、新人戦で初優勝!日本体育協会スポーツ少年団東京都大会が5月に行われ、初優勝!

バレーボール協会主催、全国大会予選の東京都大会では、準優勝! 開催地枠にて全国大会に出場し、ベスト8の成績を残しました。

秋のスポーツ少年団全国大会東京都予選で優勝! 3月に和歌山県で行われた全国大会に出場。

10月に、バレーボール協会の東京都大会で、優勝し、茨城県にて関東大会出場!

私は子供達に、バレーボールを通して人生の勉強と成長をさせて頂きました。最高の思い出をありがとう!



生涯スポーツ優良団体の紹介

GT辰巳テニスクラブ

会長 岩谷 靖

このたびは「生涯スポーツ優良団体」として表彰していただき、誠にありがとうございます。

GT辰巳クラブは、現在毎週日曜、祭日の午後、辰巳小学校の校庭を利用して活動を続けています。

区及び連盟が主催する各大会において上位入りを果たし、墨東や都民大会にも選手を送り出しています。活動の拠点とする辰巳小学校校庭での日常の活動の中で、児童とその保護者な

どとの親交を深め、地域の青少年の健全育成活動も積極的にかかわっております。

会員以外(経験者、初心者問わず)でも参加できますので、いつでも声をかけていただければ幸いです。



めざせ!!

2020東京オリンピック 小学生、中学生の活躍

小学校におけるスポーツの大会は、8月に水泳記録会、10月に連合運動会が実施されました。今年度は新記録が続出しました。

また中学校では、東京都大会、関東大会、全国大会などが行われ、今年も区内中学生の活躍がたくさん見られました。児童・生徒の感想を含め、活躍の様子をお伝えします。

2020年に開催される東京オリンピックでは、この子どもたちの世代から活躍が見られるかも知れません。乞うご期待!

小学校水泳記録会で新記録

第二砂町小学校

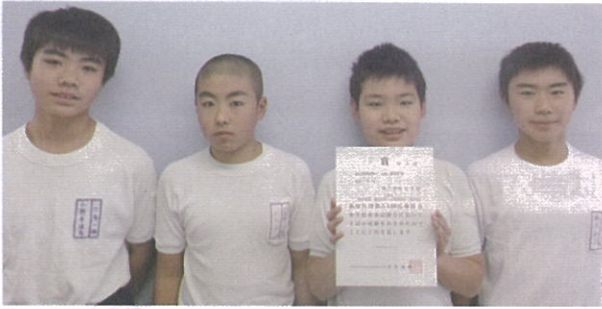
男子200mリレー2分13秒4

小野寺涼太、武井 源、鈴木壮真、歳谷壮史

夏休みに学校での水泳教室に毎日のように参加し、先生の指導を受けてがんばって練習しました。当日は天気が悪くて心配しましたが仲間を信じて泳ぎ、大会新記録が出てうれしかったです。中学でも記録に挑戦する意欲にあふれています。

[指導した先生より]放課後友だちを誘ってスポーツセンターに通い努力していました。

また水泳だけでなくサッカーや連合運動会でも活躍し、努力は実を結ぶことを実感しました。



(左から、小野寺、武井、巖谷、鈴木)

連合運動会で新記録続出

男子400mリレー

数矢小学校チーム 52秒2

青木友佑、鍛 将太、富田 柁、笠原健司
サブ 杉村光陽、岩崎空良

毎日の朝練で、バトンパスのレベルを上げていきました。うまくいかなくても気持ちを切らさず取り組み、スピードを落とさずにできるようになってきました。大会では絶対優勝すると思っていたので、新記録で優勝したときはうれしかったです。バトンパスが完璧で、仲間がいたから優勝できました。今後も練習して6年後の東京オリンピックで金メダルを取ります。

[指導した先生より]子どもたちは、失敗や壁にぶち当たりながら無我夢中で練習し、バトンパスの技術が驚くほど上達しました。この練習を通して一番成長したのは子どもたちの「心」でした。「絶対にタイトルをとるぞ」という強い気持ちで挑戦し続けた時間は忘れることのできない宝物の時間でした。



(前列左から 笠原、青木、杉村、後列左から 鍛、富田、岩崎)

男子1000m走

東陽小学校 山田 龍之介 3分06秒2

学校では、朝と放課後に練習した。ペースを保って走れるように意識して取り組んだ。週4回江戸川の陸上クラブでも練習。

この大会では1位をめざし、大会記録も出した

いと思っていた。いつも通り走ることができ、大会記録を更新できうれしかった。親や先生に良い結果を伝えられ、よかった。今後は、フルマラソンでオリンピック出場、箱根駅伝に出たい。

[指導した先生より]フォームの綺麗さと安定感に驚き、ただ者ではないと思いました。練習では友だちをリードし、頼もしく感じました。本番ではプレッシャーに打ち勝ち素晴らしかったです。



50mハードル走

第二大島小学校 鈴木 優太 7秒8

学校の朝練習で、インターバル間の3歩を速く走るように取り組みました。友だちと競い合うことでタイムを縮めることができました。当日は緊張したけれどやる気が出ました。新記録を出したときは指導してくださった先生に感謝の気持ちを感じました。

[指導した先生より]練習にまじめに取り組んでいて、新記録を出したあともお世話になった先生方に感謝の言葉を伝え、立派な態度でした。

第二大島小学校 前田島 一樹 8秒0

振り上げ足を素速く下げることやインターバル間の足の回転を速くできるように気をつけて練習しました。当日は緊張しましたが新記録と聞いてうれしすぎて実感がなかなかかわかなかったです。

[指導した先生より]最後まで頑張ることができ、とても格好良かったです。その後の学校生活でも頑張れるようになり、下級生の憧れの6年生になりました。



(左から 前田島、鈴木)

**男子1000m走
第五大島小学校 宇野 聡悟 3分08秒7**

毎日放課後、先生に指導していただき、始めはランニングから。1000mを実際に走り計測しタイムを縮めようと努力し練習を重ねました。1位になりたいと思っていたので、ゴールしたときはとてもいい気持ちでした。タイムが出たとき、深川地区の人と2秒差だったのでとてもよかったです。

[指導した先生より]体を動かすのが大好きで休み時間だけでなく、朝の時間や放課後にも積極的に運動していました。この大会に向けて、200mや400mを一定のペースで走れるように、また1000mを短く感じるように3000mの練習も取り入れました。江東区の中でもいい記録が出せるだろうと確信していました。



中学生全国、関東、都大会で好成績

深川第三中学校 赤間 郁
全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会
 関東ブロック男子14~15歳高飛込 第1位
 全国大会 第5位
 全国中学校選手権水泳競技大会高飛込 第8位
 国民体育大会水泳(飛込)競技会 出場

5~9月までの夏期シーズン中は週に6日3~6時間の練習をしています。今年が中学校最後の大会だったので、精一杯頑張りたいと思いました。

今後は日本選手権出場が目標です。



深川第三中学校 白石 光

全日本ジュニアテニス選手権シングルス 第1位
全国中学生テニス大会シングルス ベスト8

週に5日、毎日3時間程度有明テニスの森で練習しています。日曜日は全国各地の大会に出場しています。

全日本ジュニアでは、ベスト4が目標だったので、優勝できてうれしかったです。今後は、ITF(海外の大会)にたくさん出て優勝します。



深川第一中学校 バスケットボールチーム
東京都秋季、春季、夏季大会三大会連続第3位
関東中学校バスケットボール大会出場

体育館練習は週に4日程度、試合があるたびにチームメイトと課題を見つけ、先生と話し合いながら練習メニューを組み立てて努力しました。

目標は「全国大会出場」でしたがあと一步届きませんでした。しかし高校の舞台でそれぞれが全国の目標に向けて努力していくと思います。受験が終わった後に、今回築いたチームを越えていけるように後輩を指導していきたいと思います。

[指導した先生より]毎日の練習に努力し、チーム内の課題を日々解決していくことに選手一同力を注いできました。練習内容は選手が考え、試合に臨むことができ、部活動の本来あるべき姿が体現できたのではないかと感じています。



辰巳中学校 南雲 海哉

関東中学陸上競技大会
男子共通棒高跳 第3位

記録 4m20

1、2年の時に基礎的なトレーニングを中心に体づくりをしてきました。とても厳しいトレーニングもありましたが、頑張りました。

関東や全国ではあまりよい結果が出せずに悔しい思いをしました。高校では次のステップ(インターハイ)にいけるように頑張りたいです。もう一度体づくりを行っていきます。

[指導した先生より]辰巳中の陸上部は、週6日で活動しています。平日2時間、休日4時間、学校の校庭をメインに練習しています。南雲君は棒高跳という種目の特性上、高鉄棒や綱を使ったトレーニングも多く行いました。全国大会では、雨天の中での試合で、本人が思うように跳躍できませんでしたが、全力で頑張っていました。練習用具(棒高跳用のマットやポール)が不足する中で本当によく頑張ってきた選手です。胸を張って高校でも頑張ってください。

**第二南砂中学校 体操部**

東京都中学校総合体育大会 女子団体3位

同 春季大会 女子団体2位

個人総合2位 平野 友菜

同 秋季新人大会 女子団体優勝

個人総合2位 平野 友菜、5位 藤本 真衣

(参考:昨年度の秋季新人大会個人の部では、藤本真衣が優勝)

体育館は、季節によって夏は暑く冬は寒いので自分の体調が一番良い状態にもっていくことが大変でしたが、試合に向けて通しの練習を頑張りました。団体での試合では、チームのみんなのために、失敗ないように頑張りました。ハイタッチをしたりとても盛り上がり、1位を勝ち取ったときは本当にうれしかったです。今後は勉強と部活を両立できるよう頑張ります。

[指導した先生より]体操は個人競技である以上、仲間であろうとも会場ではライバルとなります。しかし団体としてチーム一丸となって戦うときは声をかけあい、仲間を励まし合い、共に助け合いながら競技を行います。素晴らしいチームになってきました。日々、自分に厳しく練習してきた成果であると思います。今後の活躍に期待がふくらみます。



(左から石川、藤本、早坂、平野)

連盟紹介**ソフトテニス連盟が文部科学大臣賞を受賞**

江東区ソフトテニス連盟は、平成25年10月1日東京都知事よりスポーツ功労団体表彰を受け、さらに26年10月13日には、文部科学大臣より生涯スポーツ優良団体として表彰されました。

また、連盟を代表し山崎会長は、25年11月3日江東区長より区政功労者表彰、26年10月30日には都知事からスポーツ功労者表彰を受賞いたしました。

これらの受賞は、昭和25年の連盟創設以来65年間、たゆまぬ努力と地道な活動を続けてこられた連盟歴代役員はじめ先輩方の尽力の賜物であります。さらに、連盟の活動を温かく導きご支援くださった江東区、体育協会、健康スポーツ公社など諸団体の皆様方のご支援によるものと、深く感謝申し上げます。

私どもは、この栄誉ある受賞を契機に、今後ますます、区民の皆様がスポーツに親しまれ、健康増進を図られますよう努力してまいります。具体的には、小中学生へのジュニア事業の拡大をはかり、シニア世代が生涯スポーツとしてテニスに親しめるよう努力し、競技力の向上を目指しつつ、ソフトテニスのさらなる普及振興を進めてまいります。これまで同様、関係諸団体の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

